

感動一点の場

『入りの白い樹』

1992年 小川原 脩 画

明るいという性格を持つ「白」、その「白」のイメージは真実さ、清浄さ、純潔さ、善良さ、そして冷たさなどであると言われる。

小川原は「白」のイメージを「白い画布に^お対面する者にとって、その白さは怖い。底冷えに似た恐ろしさなのだ。すべてのものが^お隠されてしまう色なのだ。なぜなら白の中からは何も見えてはこない」という。

画家は白い画布の上に何かを置くことから始める。何色かの絵の具を恐る恐る置く。入りの白い樹は確か12作ほどあったはずだ。小川原はこのシリーズが好きだと言っていた。

私は「白」のイメージにこの白い樹のように妖艶さを加えたい。



ふる探訪 さと

337回

あの時代 この時代



その22「ボンネットバス」 昭和34年

雪解けの頃になると町内の道路はいたるところで泥沼と化していたそうです。「馬の腹がつかえて身動きが取れない」そんな状態だったと言います。

昭和30年代まで国道5号線は、倶知安十字街から左折し、現在のメルヘン通りを抜け北踏切へ、さらに酒造会社から右にカーブし峠下へと続く、砂利敷きの幅員が4m足らずの道でした。

昭和23年4月、北海道乗合自動車が倶知安 - 岩内間に1日1往復のバス運行を始めました。

5号線が現在のルートに切り替わり小沢まで舗装道路となったのは昭和41年のことでしたので、それまでは、バスはでこぼこ道をガタゴトと走っていました。



＜北海道新幹線のシンボルマーク「北海道新幹線、次は札幌へ」＞

広報くっちゃん4月号
NO 987
平成23年4月1日発行

倶知安町の公式Webサイト
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp>
倶知安町役場代表 Eメールアドレス
info@town.kutchan.lg.jp

■発行・編集
倶知安町企画振興課広報広聴係
〒044-0001
虻田郡倶知安町北1条東3丁目
☎ 0136 22 1121 FAX 0136 23 2044
■印刷 (有)旭太陽堂印刷



北陽小学校卒業式。式を終えた6年1組27人は、最後の学級会で、思い出の映像を見たり、先生に一人一人感謝の気持ちを伝え、別れのあいさつをしました。

今月の表紙

関連写真を紹介

町長室から
はじめに東北太平洋沖地震の被災者やご家族のみなさんに心からお見舞いを申し上げます。町民のみなさんから「何か支援したい」「何かできることはありませんか」とのお問い合わせやご意見をたくさんいただき、暖かい心遣いに変え感謝しております。倶知安町としてもできる限りの支援をしていくよう関係機関と調整を図り、早急に対応していきます。

また、この地震を教訓に、万一の場合の避難先、連絡方法などご家族で話しあったり、物が落ちたり、倒れるような危険なところがないか点検をお願いします。

新入学や就職をされ新しい生活を迎えるみなさん、日本中が混乱している状況ですが、こんな時だからこそ勇気を持って、未来に向けて一歩を踏み出してください。

ご活躍をお祈りします。

福島世二